航路標識の老朽化等対策により船舶交通の安全を確保

5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：航路標識の老朽化等対策を実施したことにより、令和8年6月25日に発生した岩手県沖を震源とする地震において震度6強を観測したが、災害による倒壊、損壊等は生じず、船舶交通の安全を確保した。

対 策 名：90 航路標識の老朽化等対策 ＜5か年加速化対策＞ 【国土交通省】

■ 実施主体：海上保安庁　第二管区海上保安本部

■ 実施場所：青森県三戸郡階上町（階上灯台）

■ 事業概要：自然災害による航路標識の倒壊、損壊を防ぐため、灯台の基礎及び梁部のコンクリート増打ち補強等の老朽化等対策を実施。

■ 事業費：全体事業費　約0.19億円（令和2年度補正）
（うち5か年加速化対策　約0.19億円）

灯台全景



■ 災害の外力、被害と効果：
令和8年6月25日に発生した岩手県沖を震源とする地震では、青森県三戸郡階上町で震度6強を観測したが、老朽化等対策を実施した階上灯台は、倒壊、損壊することなく安定した航路標識としての機能を維持し、船舶交通の安全を確保した。

主な対策

